



証の書にある「人知」・・・天の定めは人知の及ばざるものにございます。～「光る君へ」より～

❖聖書の偉大な真理を十分に理解することができないと認めることは、**限りある人知は、無限を悟るに不十分である**ということを認めるにすぎません。つまり、人間は、限られた知識をもつては全能者の目的を悟ることはできないというのであります（キリストへの道 疑いをいかにすべきか）。

❖神のみ言葉は、その聖なる著者のご性格のように、有限な人知では決して完全には理解できない神秘を提示する（教会への勧告 第10章 聖書読者に約束されている神からの光）。

❖有限な人知で可能な限りの科学的な探索を行ったとしても、その先には無限のかなたが存在するのです（次世代につなぐ信仰 第2章 私たちの学校の目的 私たちの信頼する神）。

❖限りある人知では、神のパラダイスの栄光を理解することはできない（各時代の争闘 第42章 争闘の終結 永遠の家郷／生き残る人々 第67章 新天新地）。

❖人は、**人知を超えた喜びと愛と不変の知恵が存在する**ことを知って、クリスチャンの望みと目的、そして地上でのクリスチャン教育が目指している天に行く準備がどんなものかを理解します（次世代につなぐ信仰 第2章 私たちの学校の目的 教育者としての聖書）。

フィリピの信徒への手紙 4:4～7

主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる**人知**を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

聖書にある自然【ざくろ】



石榴、柘榴、若榴

†ざくろ（石榴、柘榴、若榴）

葉は対生（葉が茎の一つの節に2枚向かい合ってつく）で楕円形、なめらかでつやがある。

エジプトの優れた果実の一つに数えられ（民数記20：5）、モーセに遣わされてカナンの地を偵察した斥候は、ぶどう、いちじくと共にざくろを携えて帰った（民数記13：23）。カナンの地の産物に数えられ（申命記8：8）、聖書の七産物（小麦・大麦・ぶどう・いちじく・ざくろ・オリーブ・ナツメヤシ）の一つである。

多数の種子を持つことから肥沃や繁栄の象徴とされ、ソロモン神殿や大祭司の衣服の装飾に使われた（列王記上7：42、出エジプト28：34）。

また、赤い花は美しい女性を象徴するのに用いられた（雅歌4：3）。

出エジプト記 28:33

上着の裾の回りには、青、紫、および緋色の毛糸で作ったざくろの飾りを付け、その間に金の鈴を付ける。

●SYUN-KA KIKOU 旬花紀行は、三田キリスト教会のホームページのみの発刊となります。

●発行責任者：三田キリスト教会所属 谷口 一（兵庫県花緑いっぱい運動推進員、防災士）

